

「光るえんがわ-北里柴三郎-」  
～やりぬくために必要なこと～

1. 学年・組 3年東組 34名

2. 目指す子供の姿

自分の考えを持った上で、友達と交流することで多様な見方や考え方に触れ、よりよい考えを構築しようとする子供

3. 本時における「子供とつくる学び」

本時において、ポイントとなるのは柴三郎が縁側の拭き掃除を続けた二年間を大きく取り上げることである。教材の中では、「二年がたち」とだけ書かれている部分を生活経験と結びつけながら想像する活動を行う。誰もが感じる「継続することの難しさ」を子供の経験に基づいて分析することで「続けられなかったのはこんな理由があったのか」や「同じこと（違うこと）で困っていたのか」という思いを共有する。また、対策を考えることで「次は続けられそうな気がする」や「(自分は)ここに気をつけようかな」という思いを持たせたい。

様々なことに興味を持ち、前向きに捉えることができるのが三年生の発達段階の特徴の一つである。やろうと決めたことを最後までできなかったとしても、次の興味を持ったことに挑戦するかもしれない。ただ、最後までできなかったという経験も糧となる考え方ができれば、子供の世界はさらに広がるのではないだろうか。これまでに、続けられなかった経験を積み上げた子供が中心となり、多くを語り、多くを学び、学級全体に学びを広げ、深めることができる授業にしたい。

4. 「子供とつくる学び」を実現するための手立て

本時で「子供とつくる学び」を実現していくための手立ては思考ツールを活用することである。縦軸をやる気、横軸を時間とする心情グラフを二度使い、柴三郎が拭き掃除を続けた二年を、経験と重ねながら想像するための手立てとする。

一度目は、三種類の心情グラフを提示し、その中から、柴三郎が過ごした二年間として、ふさわしいものを選び、その根拠を交流する。自分の経験と重ねながら考える子供は、三種類の心情グラフでは表しきれない心情の機微があることに気付き、用意した心情グラフでは物足りなく感じるだろう。そこで、次は自分たちで心情グラフをつくってみようとして投げかける。

心情グラフを作成する中で、「遊びたい時だってあるよね」や「ほめられたら頑張ろうって思うよ」と続ける中で生まれる気持ちを交流するだろう。その交流の中で、自分と同じもしくは違うことに気付かせたい。

全体での交流では、やる気が高まること、やる気がなくなることを分けて見える化し、やる気が高まることを糧とし、やる気なくなることに對してどのように対応するかを考える活動を通して、続けられるような気持ちを持たせ、挑戦しようとする心情を育みたい。

## 5. 教材について

本教材は、北里柴三郎の伝記教材である。子供の頃に親戚に預けられた柴三郎は、叔母さんに掃除の仕方を教えてもらい、毎日縁側の床を拭くように言われる。始めは、やらされているがやりがいを見つけて目標を決め、二年間、毎日拭き掃除を続ける。家に帰る最後の日も拭き掃除を行い、ぴかぴかに光る縁側をじっと見る場面で終わるという話である。

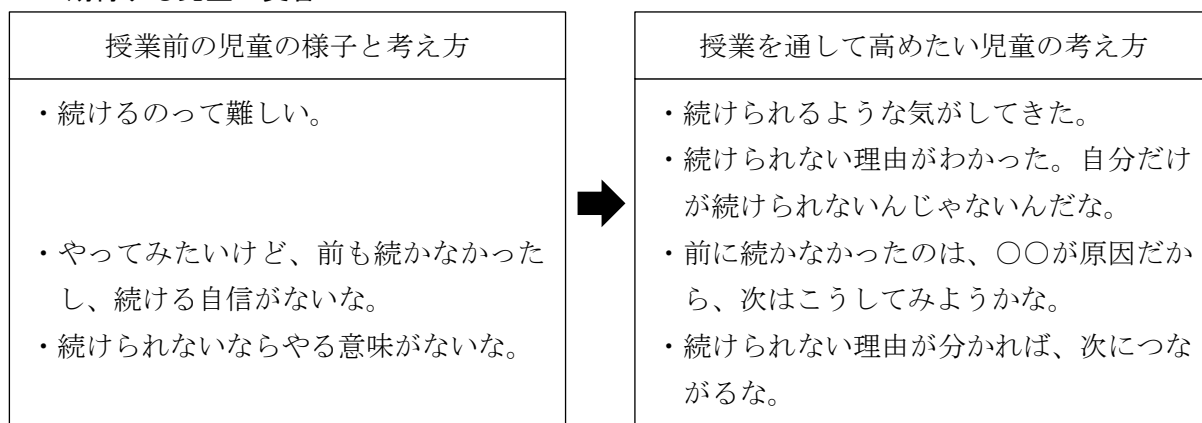
家の手伝いを経験してきた子供たちにとって、幾度かの経験の中でもやめたいと思ったことがあるだろう。遊びに行きたい気持ちの中で、しなければいけないことを優先させた経験もあるだろう。掃除を早く終わらせるために手を抜いたこともあるだろう。そのような経験をしてきた子供たちにとって、柴三郎が拭き掃除をやられているときの気持ちは自分の気持ちと重ねて考えることができる。継続は力なりという言葉の意味やその言葉の正しさを子供たちは知っている。しかし、継続することの難しさもまた知っている。そこで一番気になることは、どうすれば継続することができるかということだろう。この教材の中では、「えんがわがだんだんと光ってきました。」から、①やりがいを見つけること、「もっとぴかぴかに光るえんがわにしよう」と心に決め」から、②目標を定めること、叔父さんや叔母さんの家に住んでいることから、③誰かの役に立っていると自覚することや、④周りの人の励ましが継続する力となることが読み取れる。これらのことを手掛かりに、多様な意見を促したい。続ける中でうまれる「人であれば誰しもが持つ弱い心」についての記載はない。ないからこそ、経験に基づいて感じたこと、考えたことを交流することができる。柴三郎に共感しながら、継続することの難しさや価値について考えを深めることができる教材である。

## 6. 内容項目の目標

自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやりぬくこと。

【中学年A－（5）希望と勇気、努力と強い意志】

## 7. 期待する児童の変容



## 8. 本時の目標

柴三郎が縁側の拭き掃除を続けた二年間の心の動きを自身の経験をもとに想像する活動を通して、やろうと決めたことを粘り強く行おうとする道徳的心情を育む。

## 9. 本時の展開

